

2020年度（令和2年度）

夏休みにおすすめする本

選定 北海道学校図書館協会

選定協力 札幌市学校図書館協議会

	表紙画像	書名 著者名他 ISBNコード	出版社 出版年(月) 本体価格	※選定コメント もしくは出版社による紹介など
幼児				
1		りんごだんだん 小川 忠博/写真・文 978-4-7515-2961-4	あすなろ書房 2020.2 1,300円+税	こっそり食卓棚にしまっておいたりんご。ひとつだけ、奇跡のりんごがあった。変わりゆくりんごの姿をたどる 346 日の写真記録絵本。
2		ウォッシュバーンさんがいえからでない13のりゆう 中川 ひろたか/作 高島 那生/絵 978-4-7999-0340-7	文溪堂 2020.1 1,500円+税	ウォッシュバーンさんは、家から外に一步も出ません。家から一步でも出たら、大変なことが起こるかも？「～かもしれないじゃない」という、色々な面白い理由が出てきます。
3		ちっちゃいやつ ロブ・ハドソン/作 ダニエル・カール/訳 978-4-89637-969-3	マイクロマガジン社 2020.1 1,550円+税	ハラベコおおかみが誘っても、ほら穴の中からはなかなか姿を見せない「ちっちゃいやつ」。ついに、外に出てきたのは・・・？
4		100 名久井 直子/作 井上 佐由紀/写真 978-4-8340-8528-0	福音館書店 2020.2 900円+税	幼児絵本「ふしぎなたね」シリーズ。 積み木、金魚、金太郎あめ……。いろいろな1と100。 子どもたちが「100」を目で感じられる絵本。
5		すきなことなあに？ 山本 直美/作 山本 美希/絵 978-4-8021-3183-4	エンブックス 2020.4 1,200円+税	“しあわせ家族”のつくりかた。みんなの「好き」を肯定する。つい注意したくなる行動も赤ちゃんの「快動」だと知れば笑顔で見守るきっかけになると思います。 —保育の現場から
小学校・低学年				
1		そもそもオリンピック アーサー・ピナード/作 スズキ・コージ/画 978-4-472-06006-9	玉川大学出版部 2020.2 1,800円+税	三段跳びの織田幹雄の生い立ちから、オリンピックでの活躍までを描く。幅広い学年に読まれる本。 風が語る。そもそもオリンピックとは。そもそも人間とは。ダイナミックに語り投げかける深い本。
2		わたしたちの家が火事です 地球を救おうとよびかけるグレタ・トゥーンベリ ジャネット・ウィンター/文・絵 福本 友美子/訳 978-4-7902-5395-2	鈴木出版 2020.2 1,500円+税	17歳の女の子がたった一人で声を上げた。地球を何とかしないと！ 勇気ある行動が世界を動かした。あなたは何をしますか？
3		きれいずきのマグスおばさん イーディス・サッチャー・ハード/文 クレメント・ハード/絵 小宮 由/訳 978-4-477-03352-5	大日本図書 2019.12 1,400円+税	マグスおばさんは、スージーと動物園に行くと言いながら、次々と掃除し始めてしまうし、動物たちにも文句を言っている……。 「こころのほんばこ」シリーズ。

4		死んだかいぞく 下田 昌克/著 978-4-591-16014-5	ポプラ社 2020.1 1,400円+税	腹を刺され、海へ放りこまれた海賊は、ゆっくりと沈んでいった。自慢の帽子や歯、爪を次から次へと海の生き物たちに取りられていくが……。死ぬとは？生きるとは？
5		シェルバのボルバ エベレストにのぼる 石川 直樹/文 梨木 羊/絵 978-4-00-112690-7	岩波書店 2020.5 1,800円+税	いつかこの先に行きたい、行きたい、行きたいなあ。 写真家・石川直樹による新しい冒険絵本。
6		プレストとゼスト リンボランドをいく アーサー・ヨークス/文 モーリス・センダック/文・絵 978-4-00-112688-4	岩波書店 2020.2 1,500円+税	ひきだしに眠っていた絵をならべて、盟友アーサー・ヨークスと、大笑いしながらつづったヘンテコなおはなし。
7		ちいさなしまのだいもんだい スムリティ・プラサーダム・ホールズ/文 ロバート・スターリング/絵 なかがわ ちひろ/訳 978-4-89572-258-2	光村教育図書 2020.2 1,500円+税	動物で助け合って暮らしている動物たち。もちろん、たまにはもめごともあるけれど、まあ当たり前。ところがガチヨウたちが文句を言い出し、よそものの排斥が決定すると……。
8		ジェンと星になったテリー 草野 あきこ/作 永島 壮矢/絵 978-4-265-07416-7	岩崎書店 2020.2 1,000円+税	ジェンは星になったテリーといつも比べられるのが嫌だった。けれど、あれから気づく。ぼくは、ぼく。そして、つながっているんだ。
9		まひるのけっとう マヌエル・マルソン/作 中川 ひろたか/訳 978-4-89572-252-0	光村教育図書 2020.2 1,600円+税	荒野に立ち、弓矢と銃を突き合わせるのは、ネイティブアメリカンとカウボーイ。しかし緊迫したムードをことごとく壊され、ドタバタしちゃうコミカルな決闘劇。
10		まいごのしにがみ いたう みく/作 田中 映理/絵 978-4-652-20364-4	理論社 2020.2 1,200円+税	ある日、道を問かれたぼく。ところがなんとその人は、死神だった。でも、見た目は弱そうなおじさん。本当に、死神？ 心温まる物語。
小学校・中学年				
1		富士山にのぼる 増補版 石川 直樹/著 松田 素子/校正・編集 978-4-7520-0933-7	アリス館 2020.6 1,400円+税	10代の頃から世界を旅し、エベレストをはじめとする7大陸の最高峰すべてに登頂をはたした石川直樹が子どもたちへおくる、はじめての写真絵本。
2		中国の昔話 九色のしか (くしき) リン・シュウスイ/文 リャオ・ジャンホン/絵 宝迪典子/訳 978-4-86702-029-6	廣済堂あかつき 2020.5 1,600円+税	薬草とりに出かけた男が森で出会ったのは九色に輝く不思議なしか。見とれて川に落ちてしまった男を九色のしかが助けてくれた。このことは誰にも言うなと、しかに口止めされたのに、男は王妃に話してしまいます。その毛皮を欲しがった王妃のために、王は兵馬とともに森へ出かけると……。よく知られた仏教説話を台湾の人気絵本作家が絵本化。古くインドからシルクロードを伝わり、敦煌の壁画にも描かれたこの物語は日本では宇治拾遺物語や今昔物語に「五色のしか」というお話として伝わっています。

3		いたずらのすきなけんちくか 安藤 忠雄/原作 はた こうしろう/絵 978-4-09-725056-2	小学館 2020.3 1,600円+税	本の森は子どもの本がたくさんある、ふしぎな建物。今日りょうたとりさはここに初めてやってきました。本であふれるこの建物で、二人はおもしろいおじさんに出会います。「おじさんは誰?」「ぼくは建築家」「この建物をたてた人?」「建てたのは建設会社のチーム。こんなふうにしようかって設計したのがぼく」建築家・安藤忠雄が設計、2020年春オープンで大きな話題を呼ぶ、大阪の『こども本の森 中之島』を舞台にした作品。『本の森』を訪れた少年とちょっと変わったおじさんとの対話から、世界的建築家・安藤忠雄の創造力の秘密が明かされます。
4		ぼかりの木 こうだ ゆうこ/作 黒須 高嶺/絵 978-4-05-205054-1	学研プラス 2019.8 1,300円+税	公園にある「ぼかりの木」の下にいと、誰もいないのに、叩かれることがある。4年生の勇太は、ある日父に叱られて「ぼかりの木」に登る。そこに小さな女の子が現れる。
5		ぼくと母さんのキャラバン 柏葉 幸子/文 泉 雅史/絵 978-4-06-518615-2	講談社 2020.4 1,400円+税	母さんがいなくなった夜、目の前に現れたのは母さんより大きネズミ！トモはラクダのキャラバンを引いてあるものを運ぶことに……。
6		うそつきタケちゃん 白矢 三恵/作 たかおか ゆみこ/絵 978-4-580-82376-1	文研出版 2019.7 1,300円+税	転校を繰り返して、ぼくが学んだこと、その二。友だちと仲よくなれば、その分だけ、引っ越しの日が辛くなる。—それでも、友だちをつくることは大切だ、と教えてくれる物語。
7		ぜんぶわかる！ アリ 島田 拓/著 978-4-591-16268-2	ポプラ社 2019.4 2,000円+税	身近にいるアリでも知らないことがたくさんある。体のこと、暮らしのことなどを大きく詳細な写真と文章で紹介している。 しぜんのひみつ写真館シリーズ9
8		ふたりの約束 アウシュヴィッツの3つの金貨 ブニーナ・ツプイ、マーギー・ウォルフ/文 イザベル・カーディナル/絵 金原 瑞人/訳 978-4-86706-006-3	西村書店 2020.1 1,600円+税	「何があっても、いっしょにいる」と約束したトビーとレイチェルは、ナチ・ドイツ占領下のポーランド・アウシュビッツ強制収容所に入れられる。 必死に生きのびた姉妹の実話。
9		じゅんぴはいいかい？ 名もなきこざるとエンカルな冒険 末里 里花/文 中川 学/絵 978-4-634-14001-1	山川出版 2019.7 1,300円+税	エンカルとは、「倫理的な」という意味で、人や地球環境、社会や地域に配慮した考え方や行動のことをいいます。 SDGs“責任ある消費”について考えられる本。
10		青いヌブキナの沼 かこ さとし/著 978-4-8354-5726-0	復刊ドットコム 2020.2 2,300円+税	同じ人間でありながら、肌の色や風習が違うだけで争いや憎みが絶えない世界。北海道アイヌの人々の歴史を、未来を担う子どもたちの伝えたいとの思いで描かれた絵本。 ヌブキナ（アイヌ語）＝すずらん
小学校・高学年				
1		ハロー、マイフレンズ 大矢 純子/作 みしま ゆかり/絵 978-4-909876-05-8	朝日学生出版 2019.11 1,200円+税	小学4年生の拓海は、夏休みに突然オーストラリアのドリンビルに引っ越すことになる。言葉の違いに悩みながらも成長していく。言葉を学ぶことの大切さを教えてくれる物語。

2		あの子の秘密 村上 雅郁/作 カシワイ/絵 978-4-577-04850-4	フレーベル館 2019.12 1,400円+税	誰にも見えない黒ネコが唯一の友達の子供。周りの人と一切関わりをもたずに日々を過ごしていた。しかし、やたらと明るくしつこく話しかけてくる転校生・明菜がやってきた。誰も見えないはずの友達のことを指摘されて・・・
3		夏休みに、ぼくが図書館で見つけたもの 濱野 京子/作 森川 泉/絵 978-4-251-04437-2	あかね書房 2019.11 1,200円+税	本が大好きな5年生の達輝。誰よりも本に詳しい彼は図書館の主と呼ばれている。ある日、同じクラスの女の子に本を探してほしいと相談され、探していると珍しくサッカー好きの友達を見かける。ひと夏の出会いと友情の物語
4		おもしろミクロ生物の世界 末友 靖隆/著 友永 たら/イラスト 978-4-03-527160-4	偕成社 2020.1 2,800円+税	普段、私たちの目に触れないミクロ世界の生物たちの生態が詳しく分かりやすく紹介されている。「知る喜び」をかきたてられる。QRコードで動画が見られるのも新しい。5年生の理科「メダカは何を食べているか」で使える。食べられる生物も、こうして生きているという視点で読むことができる。
5		5000キロ逃げてきたアーメット オンジャリQ.ラウフ/作 久保 陽子/訳 978-4-05-204932-3	学研プラス 2019.12 1,500円+税	ロンドンに住む9歳の女の子アレクサと転校生アーメットの物語。シリアからの難民アーメットの両親を捜すため奮闘するアレクサたち。国や言葉をこえて心を通わす子どもたちに拍手を送りたくなる一冊。
6		琉球という国があった 上里 隆史/文 富山 義則/写真 一ノ関 圭/絵 978-4-8340-8549-5	福音館書店 2020.2 1,300円+税	世界遺産首里城の在りし日の写真と共に、琉球の歴史・文化がわかりやすく要約されている。2019年首里城炎上後によせた著者のあとがきも必読。2012年「たくさんのふしぎ」ハードカバー化。たくさんのふしぎ傑作集
7		ハロー、ここにいるよ エリン・エントラーダ・ケリー/作 武富 博子/訳 978-4-566-02466-3	評論社 2020.1 1,600円+税	アメリカの11歳から12歳の4人の少女が、ある一日のできごとを通して、お互いに関わり合います。好きな女の子に「ハロー」とも言えないなんて？ なみだと笑いの友情物語。
8		地球について知っておくべき100のこと ジェローム・マーティン、ダラン・ストッパート アリス・ジェームス、トム・マンブレイ/文 竹内 薫/訳・監修 978-4-09-725035-7	小学館 2020.1 1,500円+税	わかりやすいイラストで、1ページ1ネタで構成された1冊。天文・地質・気象などあらゆる分野から大図解。
9		湊町の寅吉 藤村沙希/作 Minoru/絵 978-4-05-205047-3	学研プラス 2019.12 1,400円+税	時は江戸時代。にぎわう新潟湊。やってくる船との取次ぎを扱うのが廻船問屋だ。廻船問屋の息子の寅吉は、弟の文助といたずらをして遊ぶ毎日。しかし、質屋の金兵衛と交わしたある約束から、湊祭りや文助と芝居に挑むことになってしまい・・・。(カバーより) 第27回小川未明文学賞大賞受賞作品。
10		イチからつくるのり(接着剤) 早川 典子・宇高 健太郎/編 水上 みのり/絵 978-4-540-19169-5	農山漁村文化協会 2020.1 2,500円+税	「イチからつくる」シリーズ7冊目。無いと困ってしまうのり。買ってくるのもいいけれど、自分で作ることもできるのり。のりの作り方や歴史等、1冊まるごと「のり」の本。

夏休みにおすすめする本

選定 北海道学校図書館協会

選定協力 札幌市学校図書館協議会

	表紙画像	書名 著者名他 ISBNコード	出版社 出版年(月) 本体価格	※選定コメント もしくは出版社による紹介など
中学校				
1		十歳、ぼくは突然「敵」とよばれた アンドレア・ウォーレン/著 もりうち すみこ/訳 978-4-8113-2714-3	汐文社 2019.12 1,600円+税	太平洋戦争がはじまると「ジャップ」「敵」とよばれて収容所で過酷な生活をおくることになった少年ノーマン。のちに政治家となり、さまざまな法の制定にかかわる。ノンフィクション。
2		なぜ僕らは働くのか 君が幸せになるために考えてほしい大切なこと 池上 彰/監修 978-4-05-205171-5	学研プラス 2020.3 1,500円+税	働くことの意味、生活にかかるお金、AI時代の働き方、勉強することの意味、やりたいことの見つけ方、後悔しない生き方・・・君に伝えたいことがたくさんある。(帯より)
3		イーブン 村上 しいこ/作 978-4-09-289301-6	小学館 2020.6 1,400円+税	ちょっとだけ背中をおしてくれる物語。 学校で友だちとケンカしたのをきっかけに登校できなくなった美桜里。祖母に連れられていった町内会の「手作り市」でカレーのキッチンカーを出していたおじさんと少年に出会う。ユニークな二人と、すっかり意気投合してカレー作りを手伝うことに。この二人も訳ありのようだ。 対人関係では、人との距離感がとても重要だが、いつでも“イーブン”でありたい、そのためにはどうしたらよいかを問う、少女たちの成長物語。
4		あなたの不安を解消する方法がここに書いてあります 吉田 尚記/著 978-4-309-61722-0	河出書房新社 2020.4 1,400円+税	他人とのコミュニケーションに不安を感じる全ての人に向けた吉田式「不安解消メソッド」。 かつて「日本一絡みづらい」とまで言われたながらも、年間150本以上のイベントを仕切る「日本一忙しいラジオアナ」に。そんな著者によるコミュニケーションの「不安」を感じるすべての皆さんに送る1冊。
5		希望の図書館 リサ・クライン・ランサム/作 松浦 直美/訳 978-4-591-16419-8	ポプラ社 2019.11 1,500円+税	母の死後、父に連れられてシカゴへ引っ越してきたラングストンは黒人でも入ってよい図書館を知り、同名の黒人詩人の本と出会う。
6		いのちを救う災害時医療 森村 尚登/著 978-4-309-61720-6	河出書房新社 2019.12 1,400円+税	「14歳の世渡り術」シリーズ。 救命救急を専門とする医師が語る、災害時の医療システムから日々の危機管理のノウハウまで。
7		グレタと立ち上がろう 気候変動の世界を救うための18章 ヴァレンティナ・ジャンネッラ/著 マヌエラ・マラッツィ/イラスト 川野 太郎/訳 978-4-265-86048-7	岩崎書店 2020.2 1,800円+税	気候変動とつながっている、さまざまな環境問題を網羅。今すぐ行動を起こすために必要な知識を得られる、必携の本。(帯より) 国連：気候行動サミット、グレタさんの演説、全文掲載。
8		ドーナツの歩道橋 升井 純子/著 978-4-591-16602-4	ポプラ社 2020.3 1,400円+税	麦菜はパン屋を営む両親と弟、祖母と暮らす高校一年生。介護が必要な祖母と家族との毎日に、心は「好き」「嫌い」に揺れ――。 新しい学校と友だち、介護が必要な家族のこと…高校一年生の麦菜の心ゆれる毎日をみずみずしく描く。 「同級生にすすめたい本」と中・高校生が語る、現在のわたし、明日のわたしの物語。

9		無限の中心で まはら 三桃/著 978-4-06-519705-9	講談社 2020.6 1,400円+税	数学の雑問を置くと誰かがこっそり解いてしまう事件が発生。 文系少女のとわと、くせ者ぞろいの数学研究部員たちは、謎を解けるのか？ ホントは物語の世界に浸りたい文系少女が、変人ぞろいの数学男子とともに、まるで 関心のない「木曜日のミステリー」に迫る…！？ マスマティックな青春ストーリー。
10		虹いろ図書館のへびおとこ 櫻井 とりお/著 978-4-309-02838-5	河出書房新社 2019.11 1,200円+税	いじめがきっかけで学校に行けなくなった小学6年生の火村ほのか。たどり着いたお んぼろ図書館でみどり色の司書、謎の少年、そしてたくさん本の本に出会い、ほのかの世 界は少しずつ動き出す！（帯より）
高等学校				
1		逆ソクラテス 伊坂幸太郎/著 978-4-08-771704-4	集英社 2020.4 1,400円+税	逆境にもめげず簡単ではない現実に立ち向かい非日常的な出来事に巻き込まれながら もアンハッピーな展開を乗り越え僕たちは逆転する！ 無上の短編5編（書き下ろし3編）を収録。
2		エンド・オブ・ライフ 佐々涼子/著 978-4-7976-7381-4	集英社 インターナショナル 2020.2 1,700円+税	「死ぬ前に家族と潮干狩りに行きたい…」患者の最期の望みを献身的に叶えていく医 師と看護師たち。 最期を迎える人と、そこに寄り添う人たちの姿を通して、終末期のあり方を考えるノ ンフィクション。
3		金木犀とメテオラ 安壇美緒/著 978-4-08-775452-0	集英社 2020.2 1,700円+税	北海道に新設されたばかりの中高一貫の女子校・築山学園。宮田佳乃は東京からトッ プの成績で入学した。しかし新入生総代に選ばれたのは地元生まれの成績優秀者・奥沢 叶。奥沢はバツと目を引く美少女で、そつのない優等生。宮田はその笑顔の裏に隠され た強烈なプライドを、初対面のときからかざ取っていた。
4		リスからアリへの手紙 トーン・テレヘン/著 柳瀬尚紀/訳 978-4-309-20793-3	河出書房新社 2020.3 1,200円+税	高い木に家を構える思慮深いリス君、蜜が大好きな奥ゆかしいアリさん、ダンスと木 登りを愛する象君、蜂蜜ケーキが好きな熊君、バラの木の下の隠れ家に住む恥ずかしが りのアリマキ君…。一癖も二癖もある動物たちが繰り広げるオフビートな物語。 『ハリネズミの願い』の著者が贈る、自由で喜びに満ちたユートピア
5		カムイの世界 堀内みさ/著 978-4-10-602292-0	新潮社 2020.3 2,000円+税	文字文化を持たなかったアイヌが、代々語り継いできた精神と伝統を、数年にわたる アイヌの人々との心の交流を経て、現代の語り部たちの「言葉」を丁寧に聞き取り、守 り継がれてきた儀式や祭祀、聖地、そしてカムイが宿る北海道の壮大な風景を写真で紹 介。 今に生きるアイヌの魂を探す旅。